

STM-10改1 ステンレス製スリムマグボトル

取扱説明書

更新日: 13.12.25

ご使用方法

ご使用前に本体・キャップを十分に洗ってください。

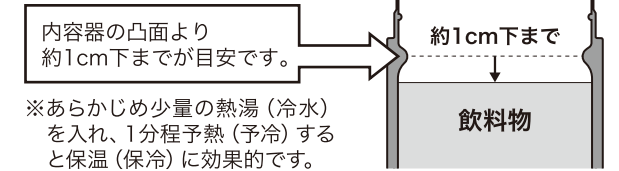
1 キャップを外す

キャップを矢印の方向にまわして外してください。



2 飲料物を入れる

飲料物の量は、図の位置以下にしてください。



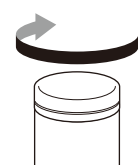
※あらかじめ少量の熱湯(冷水)を入れ、1分程予熱(予冷)すると保温(保冷)に効果的です。

[注意]

・入れすぎるとキャップを閉めた時に飲料物があふれる原因になります。又、持ち運ぶ時に漏れの原因になります。

3 キャップを閉める

本体を立てた状態でキャップを矢印の方向にまわして確実に閉めてください。



[注意]

・キャップを確実に閉めてください。漏れの原因になります。
・パッキンを確実に取り付けてください。漏れの原因になります。

4 キャップを外して飲料物を飲む

1. 本体を立てた状態でキャップを矢印の方向にまわして外してください。
2. 口部に口を付けて、ゆっくり傾けながら飲んでください。



[注意]

・熱い飲料物を入れた場合、ヤケドに注意してください。
・本体を傾けた状態や、顔を近づけた状態でキャップを開けないでください。勢いよく出て、ヤケドの原因になります。

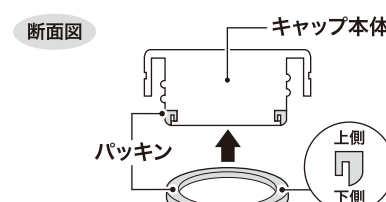
5 飲み終わったらキャップを閉める

本体を立てた状態でキャップを矢印の方向にまわして確実に閉めてください。



パッキンの取り付け方

[注意] 正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。



パッキンの取り付け方向に注意して、キャップ本体の溝に合わせて確実に取り付けてください。

お手入れ方法

清潔に使用して頂くために、ご使用後は、その日のうちにお手入れをしてください。

本体

●お手入れは、食器用中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジ又はブラシでよく洗い、水気を拭き取り十分に乾燥させてください。
●汚れや臭いが気になる場合は、次に記載の方法を守り、漂白剤で30分を目安にお手入れしてください。
●長期間使用しない時は、汚れを十分に落とし、よく乾燥させてください。高温多湿の場所を避けて保管してください。

内容

○丸洗いでできます。

[注意]

●つけ置き洗いはしないでください。隙間から水が侵入し、腐食や故障、保温・保冷不良の原因になります。
●塩素系漂白剤を使用しないでください。腐食や故障、保温・保冷不良の原因になります。

内容器

※内容器は下記の方法でお手入れができます。

【斑点状の赤いサビが付着している場合】
水に含まれる鉄分等が付着したものです。内容器にお湯を入れ、食酢を10%程度加えてキャップを取り付けずに約3時間放置後、よく洗ってください。

【ザラザラしたものが付着している場合】
水に含まれるカルシウム等が付着したものです。内容器にお湯を入れ、クエン酸を10%程度加えてキャップを取り付けずに約3時間放置後、よく洗ってください。

【汚れや臭いが気になる場合】
酸素系漂白剤を内容器に入れ、キャップを取り付けずに約30分放置後、よく洗ってください。



キャップ本体

○丸洗いでできます。

[注意]

●つけ置き洗いはしないでください。隙間から水が侵入し、故障の原因になります。
●塩素系・酸素系漂白剤を使用しないでください。故障の原因になります。

パッキン

○丸洗いでできます。
○つけ置き洗いができます。
○塩素系・酸素系漂白剤が使用できます。(30分を目安)

[注意]

○お手入れ後は、各パッキンを確実に取り付けてください。漏れの原因になります。

お手入れ上の注意

お手入れの前によくお読みの上、必ずお守りください。

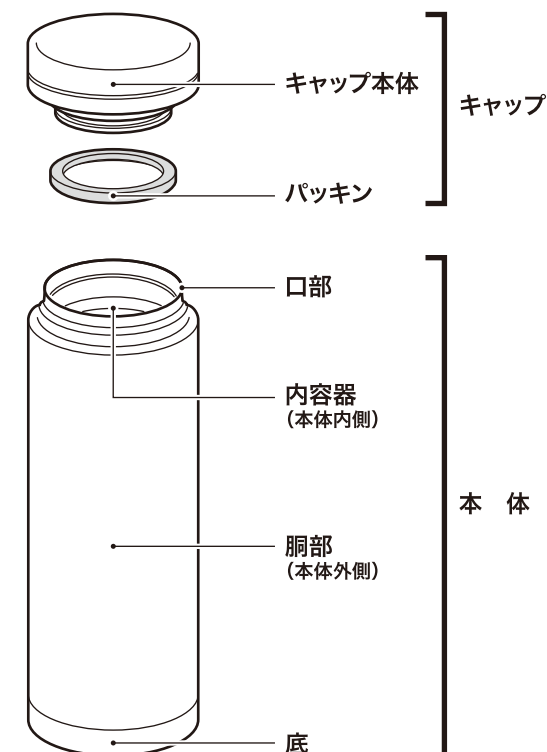
●食器洗浄機や食器乾燥器等を使用したり、煮沸・熱湯消毒をしないでください。変形による漏れや保温・保冷不良の原因になります。又、塗装のはがれや変色、腐食の原因になります。

●シンナー類・クレンザー・金属タワシ・化学ぞうきん等は使用しないでください。傷や変色の原因になります。

●スポーツ飲料を入れた場合、ご使用後すぐにお手入れをしてください。外出時等で十分なお手入れができない場合でも、すぐに内容器を水でよくすすいでください。カビの発生やスポーツ飲料に含まれる塩分により腐食の原因になります。

各部の名称

ご使用前に、各部品が揃っている事を確認してください。



※イラストは一般的なものであり、実際の形状とは異なる場合があります。

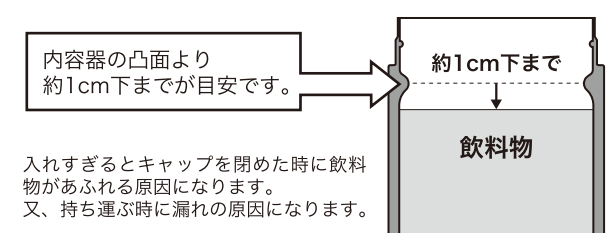
取扱上の注意

●ご使用になる時は、ヤケドや飲料物の変質・変色、製品の故障・汚れを防ぐために、下記の事は必ずお守りください。
●漏れやあふれは、他のものを汚す原因になります。

●乳幼児の手の届く所には置かないでください。又、いたずらには十分注意してください。ヤケドやケガの原因になります。

●飲料物の保温・保冷以外の用途には使用しないでください。

●飲料物の量は、図の位置以下にしてください。



入れすぎるとキャップを閉めた時に飲料物があふれる原因になります。又、持ち運ぶ時に漏れの原因になります。

●キャップは、パッキンが正しく取り付けられている事を確認し確実に閉めてください。漏れの原因になります。本体を逆にして漏れない事を確認してください。

●熱い飲料物を入れた場合、口部が熱くなりヤケドの原因になりますので注意してください。

●本体を傾けた状態や、顔を近づけた状態でキャップを開けないでください。勢いよく出て、ヤケドの原因になります。

●次のものは絶対に入れないでください。

- ドライアイス・炭酸飲料
キャップを閉めると内圧が上がり、キャップが開かなくなる、飲料物が吹き出す、キャップが破損し飛び散る原因になります。
- 牛乳・乳飲料・果汁等の腐敗しやすいもの
そのまま放置した場合、腐敗や変質の原因になります。又、飲料物からガスが発生し内圧が上がり、キャップが開かなくなる、飲料物が吹き出す、キャップが破損し飛び散る原因になります。
- みそ汁・スープ等の塩分を含んだもの
本体の内容器はステンレス鋼を使用していますが、塩分による腐食の原因になります。
- お茶の葉・果肉を含む飲料物
キャップの隙間に詰まり、飲料物が漏れる原因になります。

●飲料物を飲む時は、本体を急に傾けないでゆっくり飲んでください。勢いよく出て、ヤケドの原因になります。

●飲料物を入れた状態で長く放置しないでください。腐敗や変質の原因になります。又、腐敗等により飲料物からガスが発生し内圧が上がり、キャップが開かなくなる、飲料物が吹き出す、キャップが破損し飛び散る原因になります。

●コンロやストーブ等、火気のそばには近づけないでください。ヤケドや変色・変色の原因になります。

●飲料物を入れて持ち運ぶ時は、キャップを上にして立てた状態で持ち運んでください。漏れの原因になります。

●落とす・ぶつける等の強い衝撃を与えないでください。変形し、漏れや保温・保冷不良の原因になります。

●電子レンジで加熱しないでください。火花が飛び、ケガやレンジの故障の原因になります。

●熱いお茶を長時間保温すると、お茶の色や風味が変わります。

●ケトル等から直接入れる場合、注ぎ口を口部にあてないでください。本体が転倒して、ヤケドやケガの原因になります。

●氷入りの冷たい飲料物を入れた時や湿度が高い時には、キャップに水滴が付くことがあります。

●冷凍庫に入れないでください。漏れや破損の原因になります。

●大きな氷を入れる場合は押し込まず、小さくしてから入れてください。口部が変形し、漏れや保温・保冷不良の原因になります。

●改造・分解・修理はしないでください。故障・事故の原因になります。

●自動車や自転車の走行中には使用しないでください。飲料物がこぼれ、ヤケドやものを汚す原因になります。又、運転時の注意が散漫になり、事故の原因になります。

●コーヒーやお茶等の色の濃い飲料物を入れると、パッキンは着色しますが、品質上問題はありません。

交換用部品のご案内

キャップ・パッキンは消耗部品です。一年を目安に確認してください。ゆるみが出てきたり、汚れが目立ってきたら、お買い上げの販売店が弊社までお問い合わせください。

■本製品の各部品は、下表の部品名で別売しています。必ず商品の品番(本体底面シールに表示)、商品名、色柄等をご確認の上、お求めください。部品代金の他に送料がかかります。

部品番号	部品名	表示例
STM10-CU	キャップ(パッキン付)	品番
STM09-PA2	パッキン	品番

●底面シールは、はがさないでください。

商品のお問い合わせに対応させて頂くため、商品の品番・商品名を必ず記入してください。

品番 _____

商品名 _____

STM-10改1